

施策番号	2305		
施策名	公共建築物の先導的整備		
概要	既存公共建築物の最適維持管理の取組を推進するため、耐震化、省エネルギー化、バリアフリー化を含めた計画的改修・修繕を行い、施設の安全性の確保と質の向上を先導的に行う。また、公共建築物の整備に当たっては、京都らしい環境配慮建築物とすること及び景観政策のモデルとなるよう率先的に取り組む。		
担当局・部室	都市計画局・公共建築部	共管局・部室	
上位政策	23 建築物		
施策に関する主な分野別計画等	京都市建築物耐震改修促進計画		

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	24年度	25年度	26年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 市有建築物の耐震化率(%)	b	c	75.7	77.9	83	93.9%	c	1.00	
2 市有建築物のCASBEE京都高評価取得率(%)	-	a	100	100	100	100.0%	a	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	b	客観指標総合評価				b	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 バリアフリー化された建物が増えている。	56	197	188	39	15	495	b	
	11.3%	39.8%	38.0%	7.9%	3.0%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
		市民生活実感調査総合評価						b

### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					25年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 公共建築物の安全性や質の向上については、耐震化や省エネルギー化など市民がその効果を実感しにくい場合があるため、客観指標を重視する。						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】●市有建築物の耐震化率に関しては、前年度に引き続き、c評価となっているものの、今年度・前年度とも目標値に対する達成度は90%以上となっており、耐震化は着実に進められている。 ●市有建築物のCASBEE京都高評価取得率に関しては、新增築する市有建築物について、京都らしい環境配慮型建築物となるよう目指しているところであり、a→a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】市有建築物のバリアフリー化を推進する中、市民の満足度は比較的高く、昨年度に引き続きb評価となっている。						24年度	B

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		25年度決算額	26年度予算額		
1	物品センター耐震改修	—	9,607	—	会計室
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

- 市有建築物の耐震化率が課題となっていることから、京都市建築物耐震改修促進計画の対象施設について、平成27年度末までに耐震化率90%を目指し、施設所管局へ情報提供及び技術支援を継続的に実施し、市有建築物の耐震改修を進めていく。
- 公共建築物の整備に当たっては、今後ともCASBEE京都の高評価取得を目指し、京都らしい環境配慮型建築物となるよう取り組んでいく。

施策名	2305	公共建築物の先導的整備
-----	------	-------------

指標名	市有建築物の耐震化率（％）
-----	---------------

担当課	企画設計課，整備支援課	連絡先	222-3640
-----	-------------	-----	----------

### 1 指標の説明

耐震化された市有建築物※の割合  
 ※交通局，上下水道局所管施設，教育委員会所管の学校及び市営住宅を除く。

### 2 指標の意味

市有建築物の地震に対する安全性を示す指標

### 3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	75.7	77.9	2.2ポイント増	83	中長期目標を達成するために定めた単年度目標値（前年度目標値から毎年度3%増加）	93.9%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		90%	27年度	86.6%	京都市建築物耐震改修促進計画

### 5 評価基準

目標値に対する達成度が  
 a：100%以上  
 b：95%以上～100%未満  
 c：90%以上～95%未満  
 d：85%以上～90%未満  
 e：85%未満

### 6 基準説明

目標値に対する達成度が100%以上の場合をaとし，5%刻みで基準を設定した。

### 7 評価結果

24	25	26
b	c	c

指標名	市有建築物のCASBEE京都高評価取得率（％）
-----	-------------------------

担当課	企画設計課	連絡先	222-3640
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

新增築した市有建築物※（延床面積300㎡以上・居室を有するもの）において，京都らしい環境配慮建築物を適切に評価・誘導するための京都独自のシステムであるCASBEE京都による高評価（S・Aランク）取得の割合  
 ※交通局，上下水道局所管施設を除く。

### 2 指標の意味

市有建築物が京都らしい環境配慮建築物になっているかを示す指標

### 3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	100	100	増減なし	100	新增築するすべての市有建築物（延床面積300㎡以上・居室を有するもの）において，CASBEE京都の高評価取得を目指す。	100.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					CASBEE京都は平成23年度から運用を開始したが，平成23年度は実施設計を完了した延床面積300㎡以上の物件がなかったため評価を行った案件がなかった。

### 5 評価基準

最新数値が  
 a：100%  
 b：75%以上～100%未満  
 c：50%以上～75%未満  
 d：25%以上～50%未満  
 e：25%未満

### 6 基準説明

CASBEE京都による高評価取得の割合が100%をaとし，25%刻みで基準を設定した。

### 7 評価結果

24	25	26
-	a	a